

目的とねらい

“バイオの世界”も始まってから今年で10年目を迎えました。これもひとえに受講者の方々の熱心な参加によって達成できたものだと感じたいです。

2022年度の京都高齢者大学はオーソドックスな講演タイトルが並びますが中身は毎年進化しており興味が尽きないところであります。生命現象はとても奥が広く新事実が明らかになればなるほど多くの疑問も発生します。生涯にわたり勉強する価値があります。

会場

河原町学舎

定員

50名

受講料

10,000円

責任講師

大島 淳（長浜バイオ大学 特任教授）

日程

全8回 第3金曜日 13:30~15:30

講義終了後の「バイオカフェ」は、今年度、コロナ禍で取りやめました。

講師の都合がつく時のみ、自由参加の質疑応答と談話タイムを設けます。



(日程等は一部変更になる場合があります)

①	バイオって何? 2022年度 京都高齢者大学 バイオダイジェスト 大島 淳（長浜バイオ大学 特任教授） 2022年度京都高齢者大学“バイオの世界”ダイジェスト版	4/15（金）
②	バイオ医薬品が切り開く新しい医療 長谷川 慎（長浜バイオ大学 教授） 糖尿病治療薬、抗がん剤、アルツハイマー治療薬についてのお話	5/20（金）
③	サイエンスイノベーションによって変化する植物科学が地球を救う 蔡 晃植（長浜バイオ大学 学長・京都高齢者大学 校長） サイエンスイノベーションについての説明と植物科学におけるサイエンスイノベーション	6/17（金）
④	放射線は人類の敵か味方か? 中島 裕夫（大阪大学 放射線科学基盤機構 医学系研究科未来医療イメージングセンター准教授） 放射線は発がん剤の仲間? 抗がん剤の仲間?	7/15（金）
⑤	植物の色を調べる 黒田 智（長浜バイオ大学 高大連携担当 主任） 葉っぱや海藻はどうして色が付いている? 今回はこれらの色をペーパークロマトグラフィーで調べます	9/16（金）
⑥	トラウマは遺伝子を変える 大島 淳（長浜バイオ大学 特任教授） 遺伝子=運命はもう古い。遺伝子を変えられる	10/21（金）
⑦	老化と寿命 ー私たちはなぜ死ぬのかー 井上 寛一（滋賀医科大学微生物感染症部門 非常勤講師） 老化、寿命、がんなどについて生命科学の観点から考える	11/18（金）
⑧	病原菌のエネルギーを絶つ、新しい抗菌薬とは 岩本 昌子（長浜バイオ大学 准教授） 細胞のエネルギー物質ATPを作る酵素の働き。どうやったら止められるか?	12/16（金）